

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(平成30年度対象)



令和元年6月

酒々井町教育委員会

1 はじめに

この報告書は、

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（第26条）の規定に基づき、平成30年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用して点検及び評価を行い、作成・公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

酒々井町教育委員会教育長及び教育委員名簿（平成31年4月1日現在）

職 名	氏 名
教 育 長	木 村 俊 幸
教育長職務代理者	石 井 國 治
委 員	村 重 浩 二
委 員	林 洋 子
委 員	大 塚 益 子

2 教育委員会会議の開催状況等

教育委員会会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて「臨時会」を開催します。平成30年度は定例会を12回開催しました。

また、教育委員会の所管事項について調査・研究する委員協議会（意見交換会）を平成30年度は19回開催しました。（定例教育委員会会議に関する意見交換、教科用図書に関する意見交換など。）

3 教育委員会会議での審議状況

酒々井町教育委員会行政組織規則第5条の規定に基づき、平成30年度は合計で24件について審議しました。

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- (2) 教育委員会規則及び訓令を制定及び改廃・・・・・・・・・・・・・・5件
- (3) 予算その他議会の議決を要する事件についての意見申出・・・・7件
- (4) 教育に関する事務の点検・評価に関する事・・・・・・・・・・・・・・1件
- (5) 附属機関の委員の委嘱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7件
- (6) 教科書その他の教材の取り扱い方針に関する事・・・・・・・・・・・・1件
- (7) 教育委員会の各表彰規程に基づく表彰・・・・・・・・・・・・・・1件
- (8) 重要文化財の指定および解除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件

規則に基づく審議案件の他、報告事項、協議事項についても取り扱いました。

報告事項（39件）の概要

- (1) 教育委員会の各種行事等の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12件
- (2) 町予算の議決に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6件
- (3) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21件

協議事項（1件）の概要

- (1) 選出依頼のあった各種協議会等の委員の選考・・・・・・・・・・・・1件

月別の主な審議議案等の概要

実施月	審議議案	報告事項	協議事項	主な審議案件等
4月定例会	5	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・附属機関等委員の委嘱 ・教育委員会行政組織規則の一部改正
5月定例会	5	2		<ul style="list-style-type: none"> ・6月補正予算（案） ・私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正
6月定例会	2	8		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の点検・評価報告書（案） ・附属機関等委員の委嘱
7月定例会	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・8月補正予算（案） ・教科用図書採択
8月定例会	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・9月補正予算（案）
9月定例会	1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・附属機関等委員の委嘱 ・公民館休館日の開館
10月定例会		1		
11月定例会	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・12月補正予算（案）
12月定例会		4		<ul style="list-style-type: none"> ・12月補正予算の議決結果
1月定例会	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会被表彰者の選考
2月定例会	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・町立図書館管理運営規則の一部改正 ・3月補正予算（案） ・新年度当初予算（案）
3月定例会	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・教育施策の策定 ・補正予算、当初予算の議決結果
合計	24	39	1	

4 事務事業の点検・評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、平成30年度教育委員会の基本理念、分野毎の重点的な取り組み、主な施策に基づく、各課、教育機関における主要事業を中心に、30事業について点検・評価を行いました。

5 点検・評価の方法

点検・評価の実施にあたり、教育委員会事務局で作成した「教育施策評価表」により実施しました。

評価は、主要事業の取り組み状況（達成度）について、実績・成果・課題を記述し、AからEの5段階で評価するとともに、今後の方向性を、拡大、現状維持、改善、統合、期限付、休止、廃止の7段階に評価する方法で行いました。

なお、法の規定に基づき、学識経験者3名にご意見をいただきました。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している
- B おおむね順調に達成している
- C 達成見込みであるが課題がある
- D 達成できなかった
- E その他

(2) 方針の分類（今後の方向性）

- 拡大・・・事業を拡大充実する
- 現状維持・・・現状を維持継続していく
- 改善・・・対応すべき改善対策を付して事業を継続する
- 統合・・・独立した事業とせずに他の事業へ含める
- 期限付・・・終期を設定して、そのまま事業を継続する
- 休止・・・事業を休止する（復活の可能性あり）
- 廃止・・・事業をやめる

6 点検・評価の結果

事務事業評価表により点検・評価を実施した30事業の結果は、次のとおりです。また、詳細については、「平成30年度教育施策評価一覧表」を添付しました。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している・・・16事業
- B おおむね順調に達成している・・・11事業

- C 達成見込みであるが課題がある・・・ 3事業
- D 達成できなかった・・・ 0事業

(2) 方針の分類 (今後の方向性) ※複数方針をつけた事業1あり

- 拡大・・・ 1事業
- 現状維持・・・ 27事業
- 改善・・・ 3事業

7 まとめ

当町教育委員会では、課題の取り組みや方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たし、信頼される教育委員会を目指すひとつの方策として点検・評価を実施しました。

また、平成30年度酒々井町教育施策として策定した基本理念「しなやかに・・・すこやかに・・・いきいきと・・・」に基づき、分野毎の重点的な取り組み、主な施策を策定し、これらに基づく各課、教育機関における主要事業について、点検・評価を行いました。

評価を実施した主要事業については、事業の目的に従い、計画的に実施されていることから、概ね適正かつ順調に執行されたものと判断していますが、実施方法に工夫や改善が必要である事業も見受けられますので、次年度の予算編成や事業計画を策定する上で検討を重ね、さらに町民の皆様のご意見を取り入れながら、高まる教育ニーズに対応することが必要であると考えています。

なお、今回の点検・評価の結果については、町ホームページによる公表を行いますので、町民の皆様からご意見等をいただき、今後の事務事業の執行に反映させていきたいと考えています。

※ 評価委員会委員

職 名	氏 名
委 員 長	久 本 邦 夫
委 員	長谷川 睦
委 員	柳 橋 幸 雄

平成30年度事業に係る評価委員会開催状況

- 第1回 平成30年 9月25日 (火)
- 第2回 令和元年 6月 3日 (月)

平成30年度 教育施策体系図



人 自然 歴史が調和した活力あふれるまち 酒々井（将来都市像）
 豊かな心を育み歴史を活かした文化創造のまちづくり 教育文化（基本目標）
 しなやかに すこやかに いきいきと生きる人づくり（基本理念）

分野	重点的な取組	主な施策	主な事業
1 学校教育	(1) 教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設、設備の整備と改修・給食施設設備の改修等 通学路の安全確保 	<ul style="list-style-type: none"> 大室台小学校グラウンド改修・酒々井小学校用地公有地化 酒々井中学校グラウンド拡張・スクールバス運行 通学路安全点検の実施・調理機器（ガス回転釜）設備更新
	(2) 確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 学習の手引きの活用・地域人材の活用 きめ細かな指導体制の推進・特別支援教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> スクールサポート指導員、スクール支援員の配置・就学支援委員会の開催 介助員の配置・地域ボランティアによる学校支援
	(3) 豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館の充実と読書活動の推進 いじめ防止対策の推進・適応指導の推進 地域とともに歩む学校づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ネットパトロール及びいじめに関する実態調査・図書館アシスタントの配置 読書タイムの設定・学校適応専門相談員の配置・ケース会議の開催 大学等との相互協力
	(4) 教職員の資質能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 教職員研修への支援・教職員の教育研究活動への支援 適切な評価の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動への助成・職種、経験年数及び教科領域に関する研修会の開催 自己評価、学校関係者評価及び第三者評価
	(5) 特色ある教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 人権同和教育の推進・環境教育の充実 国際理解教育の推進・保小中連携の推進 あいさつ運動の推進・郷土を愛する心の涵養 	<ul style="list-style-type: none"> ALT及び英語専科教員の配置 保小中連携推進事業の実施 各種人権、同和教育事業の実施・中学3年生への英検受験料助成（パワーアップE） 豊かな心を育むCTSプランへの助成・「酒々井学（ふるさと学習）カリキュラム」の作成
	(6) 幼児教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 教育内容の改善・幼児教育に係る支援 	<ul style="list-style-type: none"> 私立幼稚園就園奨励費補助、運営等補助・保育園児への英語活動、体育活動及び情操教育
	(7) 健康・体力づくりと食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 体力、運動能力の向上・競技力の向上・安全安心な給食の提供・食育推進・食物アレルギー対応 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動指導員の配置・大会参加経費の助成・地元産食材の積極的な利用・食材放射線測定 栄養教諭による栄養指導・食物アレルギー対応（お知らせ提供、除去食提供）
2 社会教育	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージに応じた生涯学習プログラムの充実 指導者等の育成・学習サークル活動への支援 学習情報の提供の充実・人権に関する関心の高揚 各種イベントの開催・公民館等主催講座の充実と学習成果の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 成人式及び盛年式の開催・まちづくりフォーラムの開催（町長部局と共催） 学習サークル一覧の作成・人権教育セミナーの開催 しずい青樹堂及び青樹堂師範塾の開催
	(2) 生涯学習の推進体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 人材養成とその活用・学校教育への支援・社会教育委員との連携・地域づくりに係る組織化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育の支援促進・地域未来塾の開催・土曜日の教育支援体制等の構築 社会教育委員会議等の充実
	(3) 学習関連施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 施設、機器の維持管理・施設の円滑な運営と利用促進 子ども読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の維持管理及び改修 フリエール酒々井の管理運営・図書館資料の拡充及び図書館サービスの充実 図書館講演会やおはなし会等の開催
3 スポーツ	(1) スポーツに参加できる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 体育施設の整備検討・学校体育施設の活用促進 指導者の確保、養成・参加する機会の拡充と情報提供の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 町民体育館等活動の場となる体育施設整備の検討・学校体育施設の活用促進 指導者講習会への参加促進・スポーツ推進委員連絡協議会への助成 年間スポーツ行事一覧の作成・健康体育アドバイザーの配置
	(2) スポーツ活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ関係団体への支援 スポーツ大会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室、大会等の開催・第69回印旛郡市民体育大会 体育協会への助成
4 青少年の育成	(1) 家庭の教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 保護者等への支援・広報活動の充実・基本的な生活習慣習得への支援・家庭学習の充実促進 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級の開催・家庭教育に関する広報啓発活動 早寝早起き朝ごはん運動の実施・ノースマホデーの実施
	(2) 地域の教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの社会参加の促進・学校教育への支援、協働 あいさつ運動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会活動・青少年相談員による各種イベントの開催・北海道陸別町との児童交流 群馬県長野原町との児童交流・青少年おもてなしカレッジの開催 地域行事への参加（ゴミゼロ等）・学校支援地域本部
5 文化芸術	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の保護と活用・郷土芸能の保存、伝承の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 郷土研究会への助成・ボランティアガイドの育成、活用・本佐倉城跡の保存整備 文化財管理及び歴史的な文書の保存利活用 まちの顔づくり推進事業・墨古沢南1遺跡の保存整備・上岩橋獅子舞の獅子頭等修理
	(2) 文化活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> 文化団体への支援・情報提供の充実・参加者の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 文化協会への助成・町民文化祭の開催及び実行委員会への支援・年間文化行事一覧の作成
6 国際交流 平和教育	(1) 国際人の育成推進	<ul style="list-style-type: none"> 英語力の向上とグローバル人材の育成・国際交流の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 中学生国際交流（派遣・受け入れ）事業
	(2) 平和を希求する意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> 命を大切にする教育・環境教育・人権教育 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育セミナーの開催
7 教育行政の推進	(1) よりよい地域・学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な教育委員活動・教育委員会の活性化 学校地域における要望等の把握 学校給食費に関する負担軽減 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な学校訪問及び意見交換会の開催 教育委員会会議の開催及び会議結果等の広報活動・教育や学校に関するニーズ調査 ホームページ及び学校だよりの有効活用・教育委員会の点検評価・教育委員会表彰の実施 学校給食費収納事務・第3子以降学校給食費免除制度
	(2) 教育事業の説明の推進		

教育委員会の点検・評価

平成30年度

教育施策評価一覧表

平成30年度 教育施策評価表

	所属名 こども課
重点的な取組	(1) 教育環境の充実
主な施策	・学校施設、設備の整備と改修
主な事業	大室台小学校グラウンド改修
事業の概要	大室台小学校のグラウンドは、永年の使用により高低差が生じ、また、砂の量も少なくなっており、雨や降霜による影響を受けやすい状態である。これまで何度か応急修繕で対応してきたが、その効果も薄れており、抜本的な対策が求められていることに鑑み、平成31年度の改修工事実施を目標に掲げ、現地の測量・改修工法等の検討を行う。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している	
実績・成果	事業費 (千円)	平成29年度決算額 平成30年度決算見込額
		0 39,351 (平成31年度へ繰越)
	グラウンド測量・改修工法等の検討を行い、庁内調整・予算要望をした結果、町議会3月定例会に補正予算案(グラウンド改修工事費用39,351千円)を提出し、議決(可決)を得た。併せて、平成31年度に事業を繰り越すための繰越明許費の議決を得た。平成31年度において、入札・工事を実施する予定としている。(夏季休業期間での工事実施を目指す。)	
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)	



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

	所属名 こども課
重点的な取組	(1) 教育環境の充実
主な施策	・学校施設、設備の整備と改修
主な事業	酒々井小学校用地公有地化
事業の概要	酒々井小学校用地は、町有地が72.2%で、依然借地が27.8%残っていることから、将来にわたり健全で安定した学校経営が維持できるよう用地購入を進める。地権者の皆様に対して、町が用地の購入意思があることを絶えず文書等で示すとともに、必要に応じて挨拶に伺うなど接触機会を増やすよう努める。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		9,875	57,624
	2名の地権者のご理解・ご協力のもと、5筆・5,089㎡を購入することができた。これにより、町有地は72.2%から84.9%に増加した。借地の残りは、6,078㎡まで減少した。(学校用地全体の面積は、40,169.31㎡) 今後も、将来にわたり健全で安定した学校経営ができるよう、地権者の皆様のご協力を得て、用地購入を進めたい。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

	所属名 こども課
重点的な取組	(1) 教育環境の充実
主な施策	・学校施設、設備の整備と改修
主な事業	酒々井中学校グラウンド拡張
事業の概要	①酒々井中学校グラウンドの拡張整備に係る基本設計を作成したところ、整備区域が増加したことに伴い、増加部分の用地測量業務等を委託し、区域の確定・地権者の把握を行う。また、地権者に対する事業の説明を行うとともに、必要な用地の購入に向けて交渉を行う。 ②テニスコートの移設に向けて実施設計を業者委託する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		49,170	13,425
	①地権者の皆様のご協力を得て、整備区域増加部分の測量・境界立会いを実施した。境界立会いの際には、事業の概要説明及び今後の事業への協力依頼を対面ですることができた。 ②平成29年度に購入した用地にテニスコートを移設するにあたり、実施設計の作成を業者に委託した。人工芝コート5面及び関連設備を内容とする設計書が完成した。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。) 酒々井中学校グラウンド拡張整備に向け、地権者との境界立会いを行ったが、今後、購入の必要が見込まれる範囲の中に、相続等の関係で交渉の難航が予想される事案が生じている。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見
---------	-------------------------

平成30年度 教育施策評価表

	所属名	こども課
重点的な取組	(1) よりよい地域・学校づくり	
主な施策	・積極的な教育委員活動	
主な事業	積極的な学校訪問及び意見交換会の開催	
事業の概要	各小中学校の教育活動を理解し、学校現場の声を把握するとともに、児童・生徒の学校生活への取り組みを確認するため、積極的に学校訪問を行う。併せて、学校施設の現状を確認する。 教育行政の課題等について、共通理解を深めるため、教育長及び教育委員による意見交換会を積極的に開催する。	

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		1,881	1,918
	各小中学校を訪問し、授業参観・施設見学を行った。その際、管理職及び教職員と懇談を行ったほか、児童生徒との交流を通して各学校の教育活動の実状の理解に努めた。学校訪問等で確認された課題等について、定例会議などで問題提起するなど、教育行政の充実に向け成果を上げた。 また、教育長及び教育委員による意見交換会を積極的に開催し、教育行政に係る諸課題等について協議した。また、事務局職員との意見交換も活発に行い、諸課題の共有に努めた。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
重点的な取組	(1) 教育環境の充実		
主な施策	・通学路の安全確保		
主な事業	スクールバスの運行		
事業の概要	小学校への通学が不便な子どもたちを援助するため、墨地区には町所有のスクールバスを伊篠・馬橋地区には町社会福祉協議会に委託したバスを運行する。いずれの利用料金も町が負担する。なお、京成電鉄を利用する下岩橋地区の児童の利用料金も町が負担する。		

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		16,010	14,492
	学校教育課でバスを所有し、シルバー人材センターで運転手を派遣してもらって事業を進めている。順調な運営ができています。		
課題・問題点	シルバー人材センターの運転手の人員が少ないことから、学校教育課が分担している墨方面のバス運行に影響がないか不安である。 また、転校生が急増した場合に対応できるか、不安がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見		
---------	-------------------------	--	--

平成30年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
重点的な取組	(2) 確かな学力の向上		
主な施策	・特別支援教育の充実		
主な事業	就学支援委員会の開催		
事業の概要	児童生徒たちの将来の自立や社会参加を見通し一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行う観点から、年間3回（8月に1回・11月に2回開催）学識経験者、学校医、各学校担当者など様々な分野の専門家が集まり就学支援委員会を開催し、児童・生徒の適切な就学先について答申する。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		65	159
	予定通り8月に1回、11月に2回の就学支援委員会を開催し、町内の特別な支援を必要とする児童生徒の適切な就学について協議することができた。就学時健康診断の二次検査の実施について、これまでの各小学校の教員への依頼から、専門的知識や資格を有する大学院生等へと移行することができた。教員の負担軽減につながったものと考えている。		
課題・問題点	特記事項無し。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見			
---------	--	--	--

平成30年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成		
主な施策	・いじめの防止対策の推進		
主な事業	ネットパトロール及びいじめに関する実態調査		
事業の概要	各学校ごとにいじめの実態を把握するため、年間5回いじめ実態調査を行います。教職員ひとりひとりがいじめ問題の重要性を認識し、常に危機意識をもっていじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組む。 また、専門業者にネットパトロールの実施を委託し、子どもたちのスマートフォン等のトラブル防止に努める。		

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		96	96
	各小中学校の生徒指導部を対象にした研修会を町教委主催で複数回開催し、いじめ問題に組織で対応できるように努めている。また、各小中学校の生徒指導体制及び教育相談体制の充実を図り、いじめの未然防止・早期対応・早期解決に努めることができた。SNS等のトラブルについては、ネットパトロールを実施することで、未然防止と早期発見に努めることができています。		
課題・問題点	スマートフォン等によるSNS、ラインのトラブルについては指導している。子ども達と保護者と合同で、スマートファン教室等を開催する学校もある。今後も工夫を重ね、トラブル削減の方策を進めていく。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	_____ _____ _____
---------	-------------------------

平成30年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な施策	・国際理解教育の推進
主な事業	A L T 及び英語専科教員の配置
事業の概要	小中学校における国際理解教育を推進するため、A L T を各小中学校に一人ずつ配置し、チームティーチングによる指導を中心にして、コミュニケーション能力の向上を図る授業を行う。また、小学校には、英語専科教員を配置し、教職員の研修と学習指導を充実させる。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		12,053	17,288
	平成29年度よりA L T を各小中学校に1名を、さらに平成30年度より各小学校に英語専科教員を配置し、充実した英語学習が実現できている。小学校では、英語専科教員を中心とした研修も計画的に進められており、教員の指導力の向上もうかがえる。		
課題・問題点	小学校では、新学習指導要領の完全実施 (平成32年度より) に向けて、より充実した英語教育のあり方について検討を進めていきたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な施策	・保小中連携の推進・あいさつ運動の推進
主な事業	保小中連携推進事業の実施
事業の概要	小中学校において挨拶、掃除、時間、聞く、話すを重点項目とし、学校生活において子どもたちに意識させて活動させるようにする。また、5項目に関する評価を行い子どもたちの指導に活用します。特に挨拶については、小中交流あいさつ運動を行い、駅や学校周辺で地域の方々や子どもたちに元氣な挨拶を率先して行う。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		300	300
	6月に特別支援学級小中交流会、10月には小中合唱発表交流会を実施し、町内の児童生徒の集まる場において、積極的に連携指導5項目について啓発している。特に挨拶については、12月に小中学校のあいさつ運動を行い、中学生が小学校に出向いて挨拶を啓発するキャンペーンを行った。「中学生のさわやかな挨拶を手本にしたい」との小学生の話が印象的であった。		
課題・問題点	小学校の児童会や各種委員会、そして中学校の生徒会が中心になり、連携指導5項目について今後も継続的に啓発を続けていく。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進		
主な施策	・郷土を愛する心の涵養		
主な事業	「酒々井学（ふるさと学習）カリキュラム」の作成		
事業の概要	教育ファシリテーターを配置し、酒々井町を様々な観点から検証し、子どもたちが郷土を愛する心を育むための教育プログラムを作成する。 ふるさと学習では、それぞれの分野に精通している町内の人材の協力を得て、将来も地元で生活し、地域で活躍する人材の育成を目指す。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		3,940	5,094
	教育ファシリテーターが中心になり、教員による推進プロジェクトチームと共に教員向け指導が伴った「酒々井学のすすめ」を作成した。また、子ども向け学習用資料「郷土史年表」を作成した。小学校の郷土資料館に展示資料の解説やイラストパネル等を設置して、酒々井学の学習拠点として整備した。		
課題・問題点	地域素材の有効な活用を今後も計画実施する。次年度は「酒々井学」の子ども向け学習用資料として、指導ガイドに対応した副読本を作成する必要がある。また、各小学校の郷土資料館を継続的に整備していく必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見
---------	-------------------------

平成30年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
重点的な取組	(1) 家庭の教育力の向上
主な施策	・ 基本的な生活習慣習得への支援
主な事業	ノースマホデーの実施
事業の概要	子どもたちの健全な育成を図るため、スマートフォンを持っている児童・生徒の適正な利用について啓発する。この取組みを行う際には、学校・家庭・教育委員会が連携し、それぞれの立場から意見を出し合い利用に関するきまりを作成し、地域一体となり、子どもたちの成長を見守る。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		0	0
	各小中学校では、パソコン学習の中で情報モラル関係の学習を行うと同時に最近、被害が拡大しているSNSやライン等のトラブルについて学級指導に加え学校集会で啓発講話を行っている。特に中学校ではスマートフォンの所持が増えていることから、PTAと連携して「利用の約束」について啓発文書を作成して各家庭に配付した。		
課題・問題点	今後も学校と家庭が連携して取り組みを継続・強化していく必要があると考える。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
重点的な取組	(1) 国際人の育成推進
主な施策	・英語力の向上とグローバル人材の育成・国際交流の拡大
主な事業	中学生国際交流（派遣・受け入れ）事業
事業の概要	酒々井中学校の生徒をドイツ、オーストラリアへ派遣し、子ども達の英語力向上を目指す。また、現地でのホームステイや様々な体験を通して酒々井町の未来を担う子どもたちに世界を見据えた広い視野を育成する。 また、ドイツの生徒を受け入れ、さらに文化交流や相手国との親睦を深める。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成29年度決算額 7,842	平成30年度決算見込額 6,349
	今年度はオーストラリアに10名、ドイツには7名の生徒を派遣した。現地ではホームステイ体験から他国の文化にふれることができ、解団式では体験したことや感想をしっかりと述べる事ができた。		
	また、6月にはドイツから、14歳から17歳の学生20名を受け入れた。受け入れは隔年で実施することとなった。		
課題・問題点	平成30年度より、オーストラリアとドイツの二カ国に事業拡大を図った。今後、両国ともバランスよい人数派遣を考慮したい。 経済的困窮状況にある家庭が参加しづらい状況にある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

	所属名 生涯学習課
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援
主な施策	・人権に関する関心の高揚
主な事業	人権教育セミナーの開催
事業の概要	①人権意識の向上と人権問題への正しい認識を図るため、町民を対象とした年間6回のセミナーを実施する。

3月末の状況

取組状況(達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費(千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		465	478
	第1回：部落差別解消推進法の制定を受けて45名参加。第2回：パラリンピック(ボッチャ)を体験しよう112名参加。第3回：ぼくは13歳 職業 兵士。～ウガンダの元子ども兵から教わったこと～217名参加。第4回：オリンピック開催と人権基準の国際化30名参加。第5回：夢と絆460名参加。第6回：木久蔵流、がんばらない子育て260名参加。合計1,124名参加。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

	所属名 生涯学習課
重点的な取組	(2) 生涯学習の推進体制の整備
主な施策	・学校教育への支援
主な事業	地域未来塾の開催
事業の概要	①コーディネータの配置 (1名) ②中学生を対象とした学習支援 (英語・数学) を年間37回実施する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		960	575
	中学生の希望者を対象に元教員などの地域住民などの地域住民の協力を得て、学習支援の確立と基礎学力の定着を目的に実施した。 ・実施日 日曜日の午後を中心に年間37回実施 ・申込者数 1年: 17人 2年: 11人 3年: 9人		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

	所属名	生涯学習課
重点的な取組	(2) 生涯学習の推進体制の整備	
主な施策	・学校教育への支援	
主な事業	土曜日の教育支援体制等の構築	
事業の概要	①コーディネータの配置 (2名) ②小学3年生から6年生対象とした学習支援 (国語・算数) こども青樹堂 (3・4年生) 年間16回実施 こども青樹堂 (5・6年生) 年間16回実施	

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		1,139	1,367
	小学3・4年生対象の「こども青樹堂」では児童27名に全16回の学習会を実施し、国語 (漢字の読み書き・意味等) ・算数 (加減乗除) 等の基礎の学び方を学習することで自主的な学習活動を支えた。 小学5・6年生対象の「こども青樹堂」では児童29名に全16回の学習会を実施し、算数・国語の基礎基本習熟と発展的な学習指導を行った。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する (復活の可能性あり) 事業をやめる
--------	---	---



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

		所属名	生涯学習課
重点的な取組	(1) スポーツに参加できる環境の整備		
主な施策	・学校体育施設の活用促進		
主な事業	学校体育施設の活用促進		
事業の概要	①学校開放体育施設の効率的な貸し出しを行う。 利用団体数：49団体		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		0	0
	学校、関係部署、関係団体、利用団体等と調整し、出来るだけ多く利用出来るように、学校開放体育施設の効率的な貸し出しを心掛けた。 利用団体数：49団体 1, 298名の利用があった。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見			

平成30年度 教育施策評価表

	所属名 生涯学習課
重点的な取組	(1) スポーツに参加できる環境の整備
主な施策	・指導者の確保、養成
主な事業	健康体育アドバイザーの配置
事業の概要	①生涯学習課に経験豊富な人材をアドバイザーとして配置(1名) ②スポーツ団体の設立を支援 ③小中学校部活指導教員への指導 ④各種事業に係る調査研究

3月末の状況

取組状況(達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費(千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		0	2,338
	経験豊富な元酒々井中学校校長の加瀬先生をアドバイザーに迎えた。 酒々井アスリートクラブの設立、運営の支援を行った。 小学校の陸上練習の支援、学校部活動の支援等を行った。 プール開放についての調査、検討を行った。 各種スポーツ関係事業の相談、支援等を行った。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

	所属名 生涯学習課
重点的な取組	(2) 地域の教育力の向上
主な施策	・学校教育への支援、協働
主な事業	学校支援地域本部
事業の概要	①町内各校のコーディネーターの配置 ②地域ボランティアによる小中学校教育支援の実施 (下校ボランティア、水泳学習の監視、ミシンがけ指導、田植え稲刈り体験指導、環境整備、学校HPの更新等)

3月末の状況

取組状況(達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費(千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		1,488	1,539
	町内小中学校それぞれのコーディネーターを中心に、地域住民や保護者の協力を得て、ミシン指導の補助やプール監督補助等の授業支援、環境整備、行事での駐車場案内等を行った。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

	所属名	生涯学習課
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承	
主な施策	・文化財の保護と活用	
主な事業	本佐倉城跡の保存整備	
事業の概要	①入口広場整備事業に伴う上水道引込み工事 ②指定地内樹木伐採・剪定(東光寺ビヨウ) ③国指定20周年記念事業(佐倉市との共催事業) 2/16プレミアム酒々井 講演会・展示・ガイドマップの作成	

3月末の状況

取組状況(達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費(千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		8,061	9,250
	①入口広場整備事業の一環として上水道の布設工事を9/22より着手し、工程の追加・調整により期間の延長、増額を変更契約により行ったが、2/28に終了した。 ②東光寺ビヨウにある民家裏の日照障害木(高さ40m・雑木1本)の伐採を12/5から開始し、1/7に完了した。 ③予定通り2/16にプレミアム酒々井で6名の有識者による記念講演会・展示を佐倉市と共催で実施。一般の方、561名の参加が見られた。また佐倉市・酒々井町の佐倉城下町を紹介したガイドマップを新規に15,000部作成し、無償配布を行っている。		
課題・問題点	城跡の今後の整備事業工程、指定地拡大の詳細については、町実施計画及び予算面と調整しながら、国・県と協議して検討を引き続き行っていく必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

	所属名 生涯学習課
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承
主な施策	・文化財の保護と活用
主な事業	まちの顔づくり推進事業
事業の概要	①重点地区のモデル的整備（修景整備・案内板等） 1. 印旛沼眺望地「下がり松」名勝地 2. 筋吉五郎家 ②モデル的整備地点の公開イベント ③「酒の井の碑」隣接地用地購入調査

3月末の状況

取組状況（達成度）	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費（千円）	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		2,884	5,074
	①「下がり松」、「筋吉五郎家」の安全対策用柵の設置や整地・板塀などの修景整備及び解説看板の設置を行った。 ②また3/16には本佐倉城跡国指定20周年記念事業の見学会に合わせ、「下がり松」の公開イベントを行った。 ③酒の井の碑隣接地の公有地化に向けて土地の鑑定調査等を予定していたが、事業の内容から住民協働課が引き継ぐこととなり、予算等も科目更正を行った。		
課題・問題点	具体的な町並み整備・内容については、現在まちづくり課で進めている景観計画との整合性を図りながら、引き続き県やまちづくり課と協議を行い、検討を進める必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

	所属名	生涯学習課
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承	
主な施策	・文化財の保護と活用	
主な事業	墨古沢南Ⅰ遺跡の保存整備	
事業の概要	①国史跡指定に向けての用地測量・調査 ②これまでの発掘調査成果をまとめた総括報告書の作成 ③調査指導委員会の開催	

3月末の状況

取組状況(達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費(千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		14,032	10,815
	①国史跡指定予定範囲について、意見具申書作成に必要なため、詳細な範囲・面積等を把握するための用地測量・調査について8/28から開始し、11/30に完了した。 ②これまでの発掘調査・研究成果をまとめた総括報告書を3/25に刊行し、国史跡指定に向けた意見具申書へ成果根拠資料として添付し、提出した。 ③調査、研究、総括報告書の内容検討を行うため、有識者による調査指導委員会を昨年度より継続して2回開催(7/26・11/12)し、必用に応じて個別に調査指導・助言を受けた。		
課題・問題点	発掘調査等成果のさらなる資料の集積や有識者に調査指導・分析を受けるなど、国史跡指定に向けての遺跡の価値づけを十分に進めていく必要がある。 併せて遺跡の周知・普及活動や今後の利活用の方向性、整備の方向性なども考えていかなければならない。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

	所属名 中央公民館
重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備
主な施策	・施設、機器の維持管理
主な事業	公民館の維持管理及び改修
事業の概要	①雨水配管の破損及び経年劣化による配管塗装修繕工事（雨水配管工事・タラップ塗装工事） ②講堂用イスの更新 ③非常用発電装置更新工事

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		82,245	7,611
	平成29年度は、公民館耐震補強工事74,608千円を含むため、決算額が大きくなった。平成30年度は、①雨水配管及び点検用梯子修繕工事432千円、②講堂用イス160脚購入1,102千円を実施。③非常用発電装置更新を予定していたが、計画を見直し、発電機の改修はバッテリーの改修工事846千円にとどめ、その他緊急性の高い工事等を実施した。高圧ケーブル改修工事2,333千円（同工事に伴う樹木剪定227千円含む）、空調ボイラー改修工事1,502千円、和室畳入替工事48畳616千円を実施した。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 施設は、39年が経過し設備の経年劣化が進んでいる。 今後、空調設備、照明設備等を計画的に改修を進める。		



今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

所属名 学校給食センター

分野	1 学校教育
重点的な取組	(1) 教育環境の充実
主な事業	調理機器（ガス回転釜）設備更新
事業の概要	給食センター開設時に酒々井小学校給食調理場から移設したガス回転釜は、経年劣化による老朽化が著しく、修繕部品もないため安全面も考慮し新たに購入（更新）する。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		0	799
	・ガス回転釜は児童生徒に人気のある揚げパンの調理に不可欠な機器であることから、夏季休業期間中の7月末までに設置を完了した。 新しいガス回転釜の更新で、より安全で安心な学校給食の実施につながった。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

所属名 学校給食センター

分野	1 学校教育
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進
主な事業	栄養士による栄養指導①
事業の概要	<p>小学1年生から6年生までの各クラスにおいて、学年に応じて「食」のテーマを設け、食に関する興味関心を高めるよう努める。</p> <p>また、中学1年生対象に、生活リズムや食生活の乱れから陥りやすいからだの不調を予防するため「生活習慣病予防講習会」を行う。</p>

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		0	0
	<p>・小学校では、給食時間前15分を利用し、学年に応じたテーマの授業を栄養教諭が直接行うことで、食に関する知識、興味、関心を持たせるよう努めた。</p> <p>・中学校では、給食委員会が11月にクラス毎の全メニューの残菜調査等実施した。その結果は適切な栄養と健康管理、食に関する正しい理解、環境問題など考えるきっかけづくりとなった。</p>		
課題・問題点	<p>(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)</p>		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

所属名 学校給食センター

分 野	1 学校教育
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進
主な事業	栄養士による栄養指導②
事業の概要	小学5・6年生及び中学2年生の家庭科の調理実習等に栄養教諭がT.T(チームティーチング)として参加することで、より栄養面で専門的な視点から児童生徒の食に関する指導を行う。また、中学校の運動部代表者を対象に部活中に陥りやすい熱中症予防対策やスポーツをする時に必要な栄養素を指導することで、事故を防ぎ身体能力を上げるためのサポートを行う。

3月末の状況

取組状況(達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費(千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		0	0
	・栄養教諭が大室台小学校5年生・6年生の家庭科の授業にT.T(チーム・ティーチング)として参加した。特に6年生では調理実習をとおして栄養面や扱い方を指導した。 ・酒々井小学校、大室台小学校の6年生では「工夫しよう楽しい食事」をテーマに栄養バランスの取れた献立作成を行い、実際にリクエスト献立として中学校3年生の考えた献立と共に学校給食に採用した。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	_____ _____ _____
---------	-------------------------

平成30年度 教育施策評価表

所属名 学校給食センター

分 野	1 学校教育
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進
主な事業	食物アレルギー対応
事業の概要	平成27年度に文部科学省から示された食物アレルギー対応指針に基づき児童・生徒の安全安心を最優先に国が表示を義務付けている原因食物7品目に加え表示を推奨している20品目について除去食、お知らせを提供する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費 (千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		0	0
	・平成29年度から食物アレルギーの原因食物について、国が表示を義務付けている7品目と表示を推奨している20品目(計27品目)に対応することとし、量や調理方法にかかわらず完全除去と改めた。 ・事業の概要に基づいた対象者は19名おり、食物アレルギー原因食物27品目の内19品目に対応したお知らせや除去食の提供を行った。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。) ・食物アレルギーのある児童等が増え、原因食物も多岐にわたり、発生時の症状も重度な子もいる。しかし、当町の学校給食センターは食物アレルギー対応専用の施設がない中で実施しているため、複雑な調理作業になり、また、原因食物の混入の危険性と常に隣り合わせとなっている。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

	所属名	学校給食センター
重点的な取組	1 学校教育	
主な施策	(1) よりよい地域・学校づくり	
主な事業	学校給食費収納事務	
事業の概要	平成29年度から学校給食費を公費化し、町が一括して徴収管理を行うこととした。これにより、教職員の事務の負担軽減、保護者の利便性の向上と振替手数料の無料化による負担軽減、会計の透明性や公平性を図る。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費（千円）	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		699	1,207
	・学校給食費を公費化したことで教職員の事務の負担軽減、保護者の利便性の向上と振替手数料の無料化による負担軽減が図られた。 ・会計の透明性や公平性を図るため、学校給食費を長期に滞納している保護者に対し、簡易裁判所による支払督促制度を活用を開始した。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） ・滞納者の学校給食費の納入を促すため支払督促制度により簡易裁判所から通知を出しても受け取らない等の状況があり、早急に滞納整理が進まない。引き続き対応していく。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

	所属名 学校給食センター
重点的な取組	1 学校教育
主な施策	(1) よりよい地域・学校づくり
主な事業	第3子以降学校給食費免除制度
事業の概要	平成29年9月から多子家庭の保護者の負担軽減を図り、安心して子育てができる環境整備を図るため、保護者が小学校から大学等の教育施設に子どもを3人以上扶養・就学させ、一定の要件を満たしている場合、第3子以降の児童生徒の学校給食費を免除する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		3,877	6,959
	・129世帯139名の第3子以降の児童生徒を対象に給食費を免除した。 酒々井小学校51人、大室台小学校55人、酒々井中学校33人		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

	所属名	プリミエール酒々井
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	
主な施策	・施設の円滑な運営と利用促進	
主な事業	図書館講演会やおはなし会等の開催	
事業の概要	<p>「酒々井町子ども読書活動推進計画」に基づいた各種取り組みを行う。</p> <p>読書通帳サービスについては、町内在住18歳以下の利用者に読書通帳を配付し、読書履歴を印字する。おはなし会については、毎月第2土曜、第4日曜に4歳以上を対象に読み聞かせを行う。わらべうたの会については、毎月第2木曜に幼児と保護者を対象に、わらべうた遊びや幼児絵本の読み聞かせを行う。多読表彰式については、昨年貸出の多かった児童生徒10名の表彰を行う。子ども映画会については、子供向け映画を上映し、図書館利用の促進を図る。図書館講演会については、講師2名による「英語と日本語で語るおはなし会」を開催する。</p>	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		76	131
	読書通帳配付冊数：192冊、おはなし会・わらべうたの会参加者数：188名、夏休み子ども教室（2回）・映画会（6回）参加者数：142名、図書館講演会119名、読書に関するアンケート実施（町内小学5・6年、中学1・2年対象）		
	今後も本計画に基づき、他機関との連携を図りながら、子どもの読書活動充実に努めたい。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成30年度 教育施策評価表

	所属名
	プリミエール酒々井
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援
主な施策	・施設の円滑な運営と利用促進
主な事業	図書館資料の拡充及び図書館サービスの充実
事業の概要	図書館では、レファレンスサービスの充実と郷土行政資料の収集、保存、活用を図るとともに、利用者の多様化するニーズに対応するため、幅広い資料の収集に努める。また、展示方法の工夫及び「図書館報」発行による情報提供等に努め、利用者の増加を図る。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成29年度決算額	平成30年度決算見込額
		5,007	5,470
	購入数：図書2,462冊、AV37点 (うちリクエスト購入：745冊) 利用者からのリクエストを優先に、蔵書のバランスに十分配慮しながら購入を行った。また、郷土に関する調べ学習や酒々井学が盛んになっていることから、棚2台を購入し、郷土行政資料コーナーとして新たに整備した。 そのほか、「図書館報」の発行(年4回)、図書館HPの活用により、積極的な情報発信に努めた。 図書館のみ入館者数が平成30年度(101,770人)は平成29年度(101,470人)と比べ300人増加した。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。) _____ _____		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	_____ _____ _____
---------	-------------------------